

株式会社ヨシモリ 事業計画(収集運搬)

1. 事業全体の概要

- (1) 一般廃棄物収集・運搬
- (2) 産業廃棄物収集・運搬
- (3) 古紙、ガラスくず、金属くずの回収・売却

2. 事業の全体計画

事業者が排出する一般廃棄物及び産業廃棄物、古紙、ガラスくず、金属くずの収集運搬を行ってまいります。地域環境、社会情勢の変化に応え、地球環境にやさしい企業として、ISO14001 の認定取得などにより限りある資源の有効活用に努めながら、自然環境との調和を目指します。

3. 収集運搬事業

(1) 取り扱う廃棄物の種類

汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。)

(水銀使用産業廃棄物を含む。)

(以上 12 種類)

(2) 予定計画運搬量

- | | |
|------------|----------|
| ① 廃プラスチック類 | 2,000t/年 |
| ② 金属くず | 650t/年 |
| ③ ガラスくず | 200t/年 |

(3) 収集運搬実績表(3ヶ年)

別紙 1 のとおり

(4) 取り扱う容器の種類

- ① 鉄製かご(2.25 m³、1.57 m³、0.57 m³、0.56 m³)、鉄製コンテナ(1.77 m³)、傾倒装置対応容器(800ℓ)、金属製容器(70ℓ)、ドラム缶(200ℓ)、フレコンバッグ(1.0 m³)

(5) 車両の用途

取り扱う産業廃棄物の種類、品目、形状に応じて、適切な車両を使用する。

(6) 事業体制

勤務時間 午前 2 時から午前 11 時 40 分まで

休業日 日曜日、祝祭日

(7) 安全管理

- ① 乗車前にアルコール検知器によるチェック
- ② 安全衛生委員会での交通安全週間に絡めた事故防止の徹底

(8) 環境対策

① 収集運搬業

ア 飛散、流出防止対策

- ・運搬に際し、飛散・流出防止の為、荷台をネットや防水シートで覆い、運搬容器はロープ等で固定する。

イ 悪臭対策

- ・臭いの発生するものについては、オープンドラム缶やポリタンク容器を使用し、密閉して運搬することで、悪臭が外部に漏れることを防止する。

ウ その他

- ・個々の産業廃棄物の特性に合わせた取扱い方法を運転手に周知徹底させる。

- ・車両、容器は必要に応じて洗車、清掃を行い、清潔にしておく。

② 積替・保管施設

ア 粉じんの飛散

- ・分別作業はホコリが立たないように丁寧に行う。
- ・必要に応じて散水する。

イ 悪臭

- ・保管場所の清掃は毎日行う。
- ・排水溝、オイルトラップを定期的に清掃する。
- ・消臭剤を常備し、適宜使用する。

ウ 騒音・振動

- ・車両から落下させての荷下ろしはしない。
- ・アイドリングストップを励行する。

エ 地下浸透

- ・施設の床面は全てコンクリートで舗装されている。

オ 害虫の発生

- ・保管場所の清掃は丁寧に行い、清掃後の汚水等は、高圧洗浄機等を使用し、排水溝へ流す。
- ・排水溝、オイルトラップを定期的に清掃する。
- ・殺虫剤を常備し、適宜使用する。

カ 緊急事態への対応

- ・地震、火災、台風等を想定し、火災対応訓練や地震対策対応訓練等を定期的に行う。

(9) 積替え保管施設の概要

別紙 2 のとおり

6 その他

(1) ISO14001 の取得

ISO14001 による継続的な取り組みを行い、環境関連法令の遵守、安全教育・緊急事態への対応等を計画的に実施していくことで、環境保全の維持向上に努めている。

(2) 健康経営「銀」の認定(協会けんぽ)、足立ワークライフバランス推進企業認定健康経営やワークライフバランスを推進することにより、過重労働対策や生活習慣病対策を推進する。

(3) 産業廃棄物処理業 認定講習会修了者 収集運搬業 1 名配置